

佐賀県研究成果情報（作成 2021 年 2 月）

[情報名] 世界水準の食パンができる小麦品種「はる風ふわり」の栽培マニュアル

[要約] パン用小麦新品種「はる風ふわり」の特性及び実需に求められるタンパク質含有率や品質を確保するために必要な栽培方法を写真やデータとともに示した『パン用小麦「はる風ふわり」栽培マニュアル』である。

[キーワード] 硬質小麦、栽培マニュアル、タンパク質含有率、パン加工適性

[担当] 佐賀県農業試験研究センター・作物部・作物育種研究担当・作物栽培研究担当

[連絡先] TEL 0952-45-8807・メールアドレス nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp

[分類] 普及

[部会名] 作物

[専門] 育種・栽培

[背景・ねらい]

近年、国産小麦を使用したパンや中華めんの商品が多くなり、国産のパン用小麦の増産が強く求められている。しかし、現在、本県で栽培されているパン用小麦品種「ミナミノカオリ」は収穫時期に降雨に遭遇すると穂発芽しやすく、過去大きな被害を受けたことから、面積が伸び悩んでいる。そのため、パン加工適性が高く、穂発芽しにくい特性を持ち、実需評価も高い小麦新品種「はる風ふわり」の特性や栽培方法などをまとめた栽培マニュアルを作成し、本県における普及拡大を目指す。

[成果の内容]

1. 本マニュアルでは、パン用小麦品種「はる風ふわり」のタンパク質含有率（原麦 12.5% 以上）の達成や倒伏を防止するための穂数や収量を目標値として設定している。
2. 目標を達成し、安定多収・良質・高タンパク質含有率とするための栽培ポイントなどを、(1)播種時期及び量、(2)施肥体系と穂揃期追肥の施用時期・量(3)パン加工適性とタンパク質含有率（原麦）との関係、(4)収穫・調整の項目で整理している。
2. 本マニュアルの活用により、特性に合わせた栽培管理が行われ、実需が求める品質確保と安定生産につなげることができる。

[成果の活用面・留意点]

1. このマニュアルは、令和3年2月に栽培農家及び関係機関等へ配布している。
2. 具体的なデータについては、栽培マニュアルを参照。

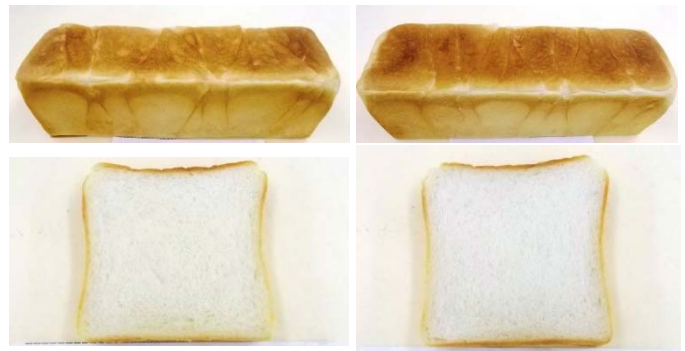
（佐賀県農業試験研究センターホームページ

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00322235/index.html に掲載）。

[具体的なデータ]



図1 栽培マニュアル



はる風ふわり 1CW (世界最高のパン加工適性)

(原麦タパク質含有率 13.6%) (原麦タパク質含有率 14.0%)

図2 製パン加工試験結果 (2018年産)

パン用小麦品種「はる風ふわり」栽培こよみ																								
生育ステージ	11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
生育ステージ	【11月15日～】						有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期				出穂期	開花期	登熟期	成熟期								
主な作業	土壌改良材散布	種子消毒	除草剤散布	踏圧	追肥Ⅰ (3葉期施用後)	追肥Ⅱ (5葉期以後)	土入れ	生育期除草剤散布	踏圧	追土肥入れ	排水溝の整備	赤かび防除 1回目	赤かび防除 2回目	赤かび防除 1回目	赤かび防除 2回目	収穫	出穂後約50日前後、積算気温900℃～1,000℃、遅れ穂のみに緑が残る程度。							
施肥関係	基肥 窒素成分 6kg/10a	大豆後 4kg/10a	追肥Ⅰ 窒素成分 3kg/10a	大豆後 2kg/10a	追肥Ⅱ 窒素成分 4kg/10a	大豆後 5kg/10a							大豆後 5kg/10a											
その他	播種量 11月中旬 4～5kg/10a	11月下旬 5kg/10a	(大豆跡) 1kg程度少なめに	「はる風ふわり」は薄播きで安定する。 苗立目標：120キ/㎡			踏圧(麦ふみ) 本葉3葉期頃～ *茎立ち前までとする	土入れ 本葉5葉期頃～	赤かび防除 1回目 開花期 2回目 1回目の10～20日後			収量構成要素等の目標 穂長：95cm以下 穂長：9cm前後 穂数：㎡当たり500本 一穂粒数：平均35粒程度 千粒重：38g以上 上麦歩合：95%以上 子実タンパク質含有率：12.5%以上 目標収量：525kg/10a												
<排水対策>・・・弾丸暗きよ、明きよなど、排水対策は万全に！！																								

図3 パン用小麦品種「はる風ふわり」栽培こよみ

[その他]

研究課題名：実需者ニーズに応じた加工適性と栽培特性を持つ暖地・温暖地向けパン用小麦品種の開発

予算区分：県単及び農林水産省・食品産業科学技術研究推進事業、農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター・イノベーション創出強化研究推進事業 (課題番号 28035C)

研究期間：2016～2020年度

研究担当者：條島真紀子、秀島好知、岩城雄飛、三原 実、松尾一宏、河野太祐、本多優志、多々良泉、坂本紀子、牧野宏美、山口 栞、西岡廣泰、徳田眞二